

「防災一人語り」グループ演奏会

土門拳写真美術館
ミュージアムコンサート

温かな音色 市民ら癒やす

酒田市の土門拳写真美術館

館（佐藤時啓館長）で23日、

初夏のミュージアムコンサ

ートが開かれ、市民らが防

火・防災を広報するアンサ

ンブルグループ「Kato's E

nsemble」の演奏を楽しん

だ。

ミュージアムコンサート

は、世界的写真家・故土門

拳さん（1909―90年）

の生誕100年を契機に、

コンサートをきっかけに施

設に親しんでもらおうと2

009年から開催。近年は

年間4回程度開かれている。

「Kato's Ensemble」

は、一人語りや歌を通して、

防火・防災への願いを伝え

る「『防災一人語り』推進

グループ」の演奏者4人で

結成するアンサンブルグル

ープ。チェロ2人、クラリ

ネット、フルートの編成で

人気を博している。

この日のコンサートは市

民ら約70人が参加。アンサ

ンブルメンバーによる東日

本大震災復興支援ソング「花

は咲く」で幕開け。「スタ

ジオジブリ・メドレー」や

ドボルザーク作曲「新世界」

より「家路」などを披露し

た後、津軽三味線奏者の馬

場邦彰さんも特別出演し、

5人のコラボで「上を向い

て歩こう」などを演奏した。

メンバーらは美術館いっぱ

いに温かな音色を響かせ、

参加した市民らは静かに聴

き入っていた。



アンサンブルグループや馬場さんが演奏を披露したミュージアムコンサート